

尾張北部自然観察会

2024年10月5日(土) 晴れ

参加者 指導員8名 一般9名 計17名

秋晴れの石徹白を訪れました。まず登山口ではアキギリとハクサンカメバヒキオコシの花が今年の同時期より数多く見られ、アキノキリンソウ、ゴマナ、オヤマボクチ、アケボノソウ、ホツツジ等も咲き、ツリバナやヤマボウシの赤い実にも目が留まりました。ツルアリドオシ、チゴユリ、ツルリンドウ、ノブキ、アクシバ、タンナサワフタギ、オオミヤマガマズミ等の実を見つけながら石段を上っていくと、青空を背にした推定樹齢1800年の大杉が出迎えてくれました。帰り道、林道脇の湿った岩壁にはダイモンジソウ、チョウジギクが咲き、サンインヒキオコシが延々と群生し林道の両側を紫色に染めていました。数多くの植物との出会いに満足し帰途につきました。(後藤)

【その他観察したもの】

[花]：トウバナ、サワアザミ、ミゾソバ、ゲンノショウコ、ヤマキツネノボタン、ヒメキンミズヒキ、アカソ、ウド等 **[実]**：ミヤマナルコユリ、アキノギンリョウソウ、バライチゴ、ムラサキマユミ、コマユミ、ミヤマシキミ、ハクウンボク等 **[その他]**：ツルニンジン(蕾)、ウワバミソウ(むかご)、イワナシ(葉)、チチタケ

